

ギカイだより

GIKAIDAYORI c o n t e n t s

12月定例会の概要・議会日程等	2
一般質問	3～6
一般質問・ラジオ番組	7
委員会レポート	8
行政視察レポート	9
行政視察レポート・意見交換会	10
審議結果	11



変わりゆく坂出

12月定例会の概要

12月定例会では、初日に市長から条例の一部改正案2件、補正予算案5件、その他議案2件が提案されました。また、9月定例会で継続審査となっていた決算認定11件を認定しました。

さらに追加議案として、条例の一部改正案6件、補正予算案7件が提案され、提案された条例改正案等は、各常任委員会での審査を経て（専決処分の承認は委員会への付託を省略）、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には議会運営委員会から提出された条例の一部改正案1件、意見書案2件が追加提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

（議案の審議結果は11ページをご覧ください。）



坂出市議会議員定数条例の一部を改正する条例

坂出市議会議員の定数を19人から18人へ変更します。（1人減）

※この変更は、任期満了に伴う次の一般選挙（令和9年4月実施予定）から適用します。

12月定例会の日程

12月 5日	本会議	提案説明 決算審査特別委員長報告への 質疑・討論・採決
12月10日	本会議	議案質疑・委員会付託 追加議案の提案説明
12月11日	本会議	一般質問（個人）
12月12日	本会議 委員会	一般質問（個人） 議会運営委員会の審査等
12月13日	委員会	総務消防委員会の審査
12月16日	委員会	教育民生委員会の審査
12月17日	委員会	市民建設委員会の審査
12月23日	議員総会 本会議	委員長報告 委員長報告への質疑・討論・採決 追加議案の提案説明 追加議案への質疑・討論・採決

公職選挙法の規定により、坂出市長選挙と同時に坂出市議会議員補欠選挙が執行される予定となりました。

坂出市議会議員補欠選挙

1名

告示日 令和7年5月11日（日）

投票日 令和7年5月18日（日）

開票日 令和7年5月18日（日）

立候補予定者等説明会

日時 令和7年3月27日（木）
13時30分～

場所 坂出市教育会館
2階 大会議室
（久米町一丁目18番20号）

Q&A

一般質問



まえかわ
まさや
前川 昌也 議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら！

人口減少に対する 市長の考えは

Q 人口減少が続く、2040年には約4万人との推計もある。市長の率直な考えを伺う。

A 本市の人口は昭和51年の約6万7千人をピークに令和6年11月1日現在では約4万8千人と深刻な状況です。若い世代が都会を目指すのは自然なことですが、その現実にしつかり向き合わなければいけません。これから本格的な多死社会を迎え、結果的に内需も縮小していきます。

人口増加は20年かかる課題であり、先進事例も参考に、今からでも色々な施策を講じながら人口減少のスピードを緩め、持続的な坂出を作り上げていくことに邁進していきます。

(市長)

消防本部新庁舎の整備を

Q 消防本部、東部分遣所ともに老朽化が進んでいるため、東部分遣所を廃止し、消防本部へ統合したうえで新庁舎を整備すべきと考えるのがかか。

A 東部分遣所の出動体制や、道路交通網の整備状況を踏まえ、東部分遣所を廃止し本署への統合は必要であると認識しています。

消防本部庁舎は県内の消防本部の中で最も古く、仮眠室の個室化、職員増加に伴う事務スペースの確保など建設当時には予想されていなかった課題もあることから、消防本部内にワーキンググループを立ち上げ、具体的な検討を開始しております。

(消防長)

要望

東部分遣所の廃止には課題もあるが、防災力強化のためにも慎重に議論しながら、ぜひ統合の計画を進めていただきたい。

質問の主な項目

- ・ 財政について
- ・ 防災について

など



わかたに
しゅういち
若谷 修治 議員
政志会



質問の様子は
こちら！

教員の自己負担問題に 対する市の認識は

Q 教員が仕事上必要なものを自己負担していると聞く。教育委員会の認識を伺う。

A 本市では授業で使用する教材・教具、教員が業務上必要な消耗品や備品等は教材費や学校運営費など公費で支払っています。しかし、学校で用意されたもの以外で教員自らが必要性を感じて個人で負担しているものがあるのも現状です。修学旅行の引率者の入館料についても施設によっては自己負担が生じています。

市教育委員会としても教員が業務を遂行するうえでの自己負担の実態を明らかにし、教員の自己負担が生じないように指導・助言していきます。

(教育長)

保護者に対して 真摯な対応を

Q 小中学校の統廃合には保護者や地域の方への細心の配慮があるが、今回の坂出中央幼稚園の募集停止に向けた説明と比べると大きくかけ離れている。今後児童数が減少していけば、他の就学前施設でも閉園ということが考えられる。保護者に対する真摯な対応を求めるが、所見を伺う。

A 11月から令和7年度の保育施設の入所申込が開始されています。今後については、その入所者数や坂出市の人口動態、民間施設との役割分担等を勘案しながら、就学前施設のあり方について検討を重ね、さらに在園児保護者との話し合いの場を持つなど、丁寧な対応を行っていきます。

(健康福祉部長)

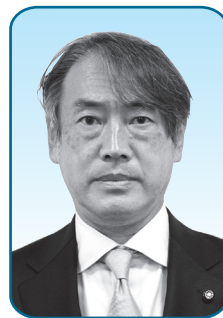
質問の主な項目

- ・ 戦略的農業振興について
- ・ 消防団員の確保について

など

一般質問

Q&A



おがさわら ひろし
小笠原 浩 議員
無所属



質問の様子は
こちら！

カスタマーハラスメント への対応を

Q カスタマーハラスメントを許さないという厳しい態度を示すためにも、カスタマーハラスメント防止条例の制定の可能性を伺う。

A 東京都において全国初のカスタマーハラスメント防止条例が制定され、今後、同様の条例の制定が全国的に広まっていくことが想定されます。

本市においては、まず、全庁的に統一された対応が先決であり、対応策を取りまとめたマニュアルの策定を進めていきます。条例の制定については、他市の状況を注視しながらその可能性を探っていきます。

(副市長)

質問の主な項目

- ・103万円の壁の見直しについて

坂出駅周辺に ホテルの誘致を

Q 坂出駅周辺の価値の向上とにざわいづくりにホテルの誘致が重要だと考える。誘致の可能性を伺う。

A 坂出市中心市街地活性化公民連携事業に選定された事業者からは、自主事業としてホテルを建設・運営する提案はありませんでした。

しかし、本市の地理的優位性を活かし、にぎわいを創出するためには、駅周辺におけるホテルの立地は不可欠です。

私自身がホテル事業者に直接働きかけるなど積極的な誘致活動を行っている結果、現時点で関心を持っている事業者もあり、引き続きホテル誘致の実現に向けて取り組んでいきます。

(市長)



うえはら ゆたか
植原 泰 議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら！

带状疱疹ワクチン接種に 対する本市の対応は

Q 国において带状疱疹ワクチン接種費用に対する補助が検討されている。本市の対応について伺う。

A 带状疱疹ワクチンは現在のところ予防接種法に定められているものではなく、任意接種です。国では当該ワクチンの有効性や安全性が確認され、費用対効果についても期待できるものとして、公費で補助する定期接種化に向け、接種の対象年齢などについても検討を進めています。

本市としても、带状疱疹ワクチンが予防接種法による定期接種となった場合、速やかに対応できるように国の動向を注視していきます。

(健康福祉部長)

※12月18日の厚生労働省の専門部会において定期接種に含める方針が決まりました。

質問の主な項目

- ・ヘルメット着用の普及について

自動運転技術の活用を

Q バス乗務員不足等の影響により公共交通の維持に影響が出ている。市民の利便性向上のためにも、国の補助金を活用した自動運転の実証実験など、新しい試みをしてはどうか。

A 現時点で自動運転は発展途上の技術ですが、将来の地域公共交通を担う役割が期待され、早期に実証実験をすることで実現可能性が高まると考えています。先進地も視察しましたが、既に次の段階に行っているところもありました。

安全性を確認しながら段階的に実施する必要があり、まずは、運転手が乗務した特定条件下での自動運転による実証実験に取り組みめるよう、現在、令和7年度の国庫補助事業の採択を目指して準備を進めています。自動運転による完全無人運行が一般化されるまでには相当の期間を要することが見込まれるため、課題解決に向けて引き続き地域の関係者と連携しながら地域公共交通の維持・活性化に取り組めます。

(市長)

Q&A

一般質問



やました しんじ
山下 真司 議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら！

犯罪被害者等への 支援のための条例制定を

Q 被害者の権利や利益の保護を目的とした犯罪被害者等支援に関する条例制定が全国の市区町村で進んでいる。本市での条例制定等についての考えを伺う。

A 犯罪被害者等への公的支援は、警察庁の犯罪被害給付制度のほか、香川県では遺族見舞金や重傷病見舞金の支給に加え、法律相談などを盛り込んだ犯罪被害者等支援条例が施行されています。

本市では犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復や軽減を図り、犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができる社会を実現することを目的とした、条例案を今年度中に議会に示し、令和7年4月の施行を目指していきます。

(市長)

質問の主な項目

- ・結婚支援について
- ・空き家対策について

消防団員応援制度の現状は

Q 平成28年に香川県消防協会から消防団員に会員証が発行された。消防団員応援制度の使用状況・登録店舗数について伺う。

A 「消防団員応援事業所制度」は、公益財団法人香川県消防協会が平成28年1月から主体となり実施している事業で、現在、坂出市では165店舗が登録されています。数件の新規登録はあるものの、制度開始当初の198件から33件の減少となっています。

利用状況を把握することは困難ですが、この制度を消防団員が活用することで、優遇サービスを受けられるだけでなく、地域での消防団活動に理解が深まることや消防団員の入団促進、さらには地域経済の活性化への貢献にもつながることから、今後も団員に対して本制度の積極的な活用を周知し、併せて新規登録の促進を実施していきます。

(消防長)



とりかい ゆい
鳥飼 由衣 議員
政志会



質問の様子は
こちら！

移動式の期日前投票所の 設置を

Q 若い世代が投票しやすい学校や坂出駅周辺、また、島しょ部に移動式期日前投票所を設置してはどうかと考えるが、いかがか。

A 移動式期日前投票所は、投票所への交通手段の確保が難しい人の投票機会の確保のほか、利便性の向上、高校などで実施することによる若者の政治意識の向上などに有効な取組と認識しています。

しかし、導入にあたっては新たな経費が発生し、学校との調整も必要です。島しょ部への設置については、今後市全域で投票区が見直される際に、投票の機会を確保するための代替手段として、移動式期日前投票所の必要性や可能性について検討していきます。

(選挙管理委員会事務局長)

質問の主な項目

- ・香川県広域水道企業団中讃ブロック統括センター旧坂出支所庁舎について

小学校で公共交通に 関する学習を

Q 小学生が路線バスに親しみをもち、公共交通の利用を促進するため、小学校の授業の二環で公共交通に関する学習をしてはどうか。

A 児童生徒が地域の公共交通機関に親しみをもち、その利用を促進することは、単なる交通手段の理解にとどまらず、地域や社会とのつながりを考える学習として非常に有意義です。

現在、学校所在地が路線バスを利用できる小学校では、バスを活用した大橋記念図書館での図書館学習、坂出市消防本部や交流の里おうごしなどでの校外学習を実施しています。この取組では、児童が実際にバスを利用することで、利用方法や利用マナーなどを学ぶとともに、公共交通の利便性や意義を体感しています。

今後も学校や公共交通機関の事業者と連携し、児童が楽しみながら学びを深めることができるよう、学習活動の在り方について指導・助言を行います。

(教育長)

一般質問

Q&A



わかすぎ てるひさ
若杉 輝久 議員

公明党議員会



質問の様子は
こちら！

聴覚補助機器等購入に
対する支援を

Q 本市の聴覚補助機器等購入に
対する補助制度と今後の計画
について伺う。

A 本市では身体障害者手帳を
持っている聴覚障がいのあるか
たに対して、障害者総合支援法に
基づく補装具支給制度による助成
をしており、原則費用の1割が自己
負担ですが、身体障害者手帳を持
っていない高齢者の補聴器購入に
対する本市独自の助成制度はありま
せん。

全国市長会において加齢性難聴
者の補聴器購入に対する補助制度
を創設するよう国に提言していま
す。本市としては国、県、他市町な
ども参考に加齢性難聴への対応に
ついて研究していきます。

(健康福祉部長)

質問の主な項目

・カスタマーハラスメント
について

市県民税非課税世帯の
予防接種手続の簡素化を

Q 市県民税非課税世帯は高齢者
インフルエンザ・新型コロナウイルス
感染症予防接種を無料接種
できるが、手続に手間がかかる。制
度の趣旨を生かすために簡易にで
きないか。

A 無料で接種できるかたには予
診票を郵送し、その予診票を
持って市役所に来ていただき、無料
の証明印を押したものを医療機関
に持参し、提出する流れです。市役
所に来庁することが困難な場合は、
代理のかたからの申請や郵送での
申請を受け付けるなど適宜対応し
ています。

無料の対象者について、非課税世
帯の把握には税務課が所有する税
情報の利用が必要となることから、
個人情報保護法等、法令との整合
性が確保できるかなどを見極めな
がら関係各課等と協議し、簡略化
の実施に向けて検討していきます。

(健康福祉部長)



さいとう よしあき
斉藤 義明 議員

自民党市政会



質問の様子は
こちら！

今年度のふるさと納税額
の目標は

Q 9月末までの実績は厳しく、
今年度の目標額6億円の達成
は厳しいと感じる。今後の取組と今
年度末の予想額を伺う。

A 今後の取組として、アマゾンジャ
パンがサービスを開始するポー
タルサイト「Amazonふるさと納
税」をオープン当初から利用するこ
とで新規の寄附者層を取り込み、
寄附の増額につなげます。

11月末時点で2億7877万円
の寄附を受け付けていますが、昨年
同月比で約20%の減額です。ただし
10月、11月単月では昨年同月比で
150%の増額であり、最終的には
目標額に近い寄附が寄せられると
見込んでいます。

今後も返礼品の充実に努めると
ともに、寄附後のサポートにも丁寧
に取り組めます。

(市長)

質問の主な項目

・人口ビジョンについて
・小中学生の不登校について

消防の救急業務の
現状と今後

Q 高齢化に伴い救急出動は増加
していると思われる。現状と今
後の問題点や対策について伺う。

A 直近3年間で搬送人員の増加
率が最も高い年齢層は高齢者
で、約24%増加しています。また、傷
病の程度別では入院を必要としな
い軽症と診断されたかたが約23%増
加しています。令和5年中の坂出市
及び宇多津町から搬送された人の
約4割に当たる1865人が軽症
と診断されています。

現状の主な取組としては、救急
車の適正利用の広報活動をしてい
ます。救急件数が約20年前に比べ
1.6倍の増加となった一方で、救急隊
員数は微増にとどまり、救急需要に
追いついていないことも課題です。救
急隊員の疲労や精神的負担の軽減
のために、職員の増員について検討
する必要があると考えています。

(消防長)

Q&A

一般質問

質問の主な項目

- ・学校給食について
- ・保育士確保について など

(建設経済部長)

Q 農道・水路において受益者が存在せず、地元土地改良区等で管理できていない箇所がある。市として予算措置をし、対応すべきと考えるのがいかがか。

A 主に生活排水が流れている市街地の水路は土地改良区等との役割分担のもと水路を所管する各担当課において民間業者へ委託し、清掃しています。道路の除草等の維持管理についても必要に応じて実施しています。

また、郊外地域においても地元土地改良区や水利組合を主体とした対応が困難であれば、現地の状況に応じて多面的機能支払交付金制度により、水路等の維持管理経費に対して支援するなど、土地改良区等と連携しながら適正な維持管理に努めます。

農道・水路の管理に 予算措置を



しのはらみつなり
篠原 光一議員

無所属



質問の様子は
こちら！

空き家所有者に 丁寧な対応を

Q 空家等対策の推進に関する特別措置法が改正され、所有者の責務が強化された。複雑な事情も考慮し、即座に強硬な対応を取らず丁寧な対応を求めるのがいかがか。

A 適正に管理されていない空き家は、周辺住民に深刻な影響を及ぼすため、適切な措置を取ることも求められます。助言・指導を繰り返し行っても適正管理を行おうとしない所有者等に対しては、近隣住民の生活環境を守るため、やむを得ず法的措置を取ることも検討しなければなりません。

一方で、所有者の中には複雑な事情を抱え、空き家を適切に管理できていないことがあることも認識しており、解決に至るには時間も労力も必要とします。引き続き丁寧な話を聞き、その背景、事情の理解に努めるとともに、本市の支援策の提供などにより空き家問題の解決を後押しできるよう対応していきます。

(総務部長)

ラジオ番組「みまい・ききまい・坂出市議会」放送中!!

ラジオ番組「みまい・ききまい・坂出市議会」を放送しています。市議会の取組や市政の情報について、議員が月替わりで発信しています。ぜひご視聴ください。(FMサン76.1MHz「Weekday みっくす(水曜日)内」とKBN地上121chにて12:00~13:50、同日夜に再放送あり)

放送日はSNSでお知らせしますので、フォローをお願いします！(最終ページ参照)

※FMサンの番組はスマートフォンアプリRadimo(レディモ)でも聴くことができます。ご利用ください。



10/23



12/4



11/27



委員会

レポート

Report



付託議案
8件

総務消防委員会

全議案全会一致で可決

坂出市中心市街地活性化公民連携事業特定事業契約を締結します。

- 事業概要** 事業に係るプロジェクトマネジメント業務
坂出駅前エリア及び坂出緩衝緑地エリアにおける施設整備業務、
維持管理業務、運営業務
- 契約方法** 随意契約（公募型プロポーザル）
- 契約金額** 13,987,235,900円（左記の金額に物価変動及び光熱水費の増減額を加算した額）
- 契約の相手方** 株式会社坂出ネクサス・カンパニー（坂出市林田町）

補助金予算を増額します。

だったら、さかいで 本気でゼロカーボン生活応援補助金について、制度の認知度向上等に伴い、昨年度を大幅に超えるペースでの申請件数が見込まれることを受け、増額補正します。

当初予算 3,000万円 ▶ **補正後 6,300万円 (3,300万円増)**

※補助上限額100万円×33件を追加（当初予算30件）計63件

市内に新たに建築されたネット・ゼロ・エネルギーハウスを取得した方に対し、補助金を交付する制度（令和8年3月31日まで）です。
制度の詳細は、市HPをご覧ください。

付託議案
11件

教育民生委員会

全議案全会一致で可決

高齢者施設の防災改修等を行う事業者に対し、費用を補助します。

高齢者施設等の防災減災対策を推進するため、利用者等の安全性確保の観点から、対象事業者に対し補助を行います。

【地域介護・福祉空間整備等補助金】

- 施設名** グループホームバンジー
- 実施主体** 医療法人社団まえた整形外科
外科医院
- 事業内容** 非常用自家発電設備整備工事
- 総事業費** 558万8千円
補助金額 558万8千円（国10／10）

付託議案
3件

市民建設委員会

全議案全会一致で可決

督促手数料を廃止します。

これまで市税及び保険料が納期限までに納付されていない場合は、督促状を送付し、督促状1通につき手数料（100円）を徴収していましたが、金融機関の窓口における公金収納事務取扱の変更、納税者の利便性や手数料徴収に係る費用対効果等を勘案し、市税及び保険料の督促手数料を廃止します。（令和7年4月1日より）

※ただし、令和7年3月31日以前に発した督促状に係る督促手数料は現行どおり徴収します。

行政視察

レポート

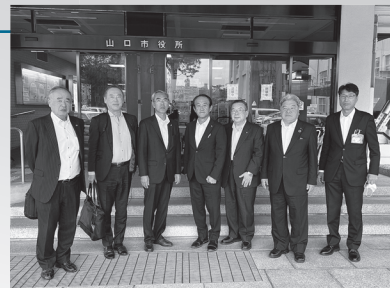
委員会では、付託された議案等の審査のほか、
所管する事項の諸問題について調査を行っています。

総務消防委員会

山口県山口市

消防団専用アプリの活用、消防団大学の取組、 消防団の加入促進について

山口市消防本部では、災害対応能力の向上、出動報告業務の負担軽減、消防団事務の効率化などを目的に、消防団専用アプリを導入・活用し、また、将来の消防団を牽引する若手消防団員を育成するため、平成30年度より消防団大学を実施しており、それぞれの効果・課題について調査しました。



熊本県八代市

スマートシティやつしろの実現に向けた取組について

八代市では、令和4年2月八代市デジタル化推進基本計画を策定し、防災、市民サービス、医療・保健・福祉、農業を重点取組としてスマートシティを目指しています。デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、スマート避難所、デジタル医療MaaS、スマート農業プロジェクト等に取り組んでおり、デジタル技術を活用した利便性、快適性の向上の取組を調査しました。



福岡県大牟田市

総合的な防災情報システムによる情報集約、一斉配信、 住民への情報共有について

大牟田市では、令和2年7月豪雨の甚大な被害を踏まえ、防災情報集約システムを導入しており、気象庁・国交省・福岡県の情報、被害現場で活動する防災士や消防団からの画像情報、監視カメラ39機・水位計18機等の情報などを大型モニター17台でリアルタイムに監視できるよう構築しており、防災の体制強化について調査しました。



教育民生委員会

兵庫県加東市

小中一貫教育の取組について

加東市では市内3地区で小中一貫校の整備を進めており、東条地域においては、令和3年4月1日に加東市立東条学園小中学校が開校し、小中一貫教育が始まっています。東条学園の現在の取組と、今後小中学校の開校を目指す社地域(7年度)、滝野地域(10年度)の準備状況について調査しました。



大阪府高槻市

未就学児の保育・教育について

高槻市ではこども誰でも通園制度の試行的事業を実施しており、事業の現状と今後の本格実施に向けた課題について説明を受けました。また、待機児童対策や高槻市立高槻認定こども園分室(民間委託)の取組等についても調査しました。



愛知県長久手市

重層的支援体制整備事業の取組について

長久手市では令和3年4月から重層的支援体制整備事業を開始しており、既存の組織を統合した地域共生推進課を市長直轄組織として設置し、地域と連携しながら支援体制を構築してきました。今年度からはくらし文化部の所管として事業を継続しており、先進地における事業の現状と課題について調査しました。



行政視察 レポート

委員会では、付託された議案等の審査のほか、
所管する事項の諸問題について調査を行っています。

市民建設委員会

兵庫県丹波市 オーガニックビレッジについて

丹波市では、持続可能な農業の振興と環境負荷低減の取組を推進するため、令和5年3月にオーガニックビレッジ宣言を行っており、有機農業の推進に向けての取組について調査しました。

大阪府堺市 Park-PFI事業について（大仙公園）

堺市では、パークマネジメント計画を策定し、公園毎に公園の役割を定めた上で民間活力の導入に関する今後の方向性を決定しています。公園の役割に応じたPark-PFI事業の活用について調査を行いました。

大阪府阪南市 藻場、アマモ場の再生について

阪南市におけるアマモ場の保全・再生活動の一環として市内全小学校で環境・海洋等をテーマに探究型共同学習を実施しており、子どもたちを中心としたブルーカーボン事業について調査を行いました。



各常任委員会が意見交換会を開催しました

総務消防委員会

11月16日（土） 中央地区連合自主防災会

市役所本庁舎4階委員会室にて、中央地区の取組について説明を受け、意見交換をしました。

主な意見

- 津波からの避難には垂直避難が必要であり、緊急避難場所の裾野を広げてほしい。
- 避難行動要支援者の個別避難計画の作成は喫緊の課題。早急に作成を完了すべき。
など

市民建設委員会

11月14日（木） 坂出市農業経営者協議会

市役所本庁舎4階委員会室にて開催しました。農業経営者から様々な意見が出されました。

主な意見

- 鳥獣被害対策の強化（イノシシによる農作物や人への被害・捕獲後の処理にも苦慮している）
- 有機農業の推進（有機肥料の活用促進・有機農産物の販路拡大）
など

教育民生委員会

11月11日（月） 川津こども園

意見交換会に先立ち、園庭や教室内での園児の様子を見学し、園庭で園児と一緒に遊ぶ委員もいました。昼食は各教室に分かれ、園児と交流しながら給食を食べました。

午後からの職員との意見交換会では、職員が子供たちと楽しく過ごす中でも苦慮することもあり、職員間で協力して対応している現状を知ることができました。

子供たちの元気な姿に各委員も元気をもらい、楽しい時間を過ごすことができました。子供たちの健やかな学びの継続と職員の働き方改革はどちらも大切です。委員会としても支援していきます。



全議員が賛成した議案
(可決・認定・承認)

市長提出議案

予 算	令和6年度坂出市一般会計補正予算(案)(第4号) など 11 件
条 例	坂出市税条例等の一部を改正する条例制定について など 6 件
決 算	令和5年度坂出市国民健康保険特別会計決算認定 についてなど 10 件
その他	専決処分の承認について (令和6年度坂出市一般会計補正予算(第3号))

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【提出議案等・審議結果】を
ご覧ください。

委員会提出議案

聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書など 2 件

認定

賛成16名
反対1名

市長提出議案

令和5年度坂出市一般会計決算認定について

賛成

鳥飼由衣、寒川佳枝、小笠原浩、植原 泰、山下真司、角野正明、
丸岡豊和、山条真嗣、若谷修治、若杉輝久、茨 智仁、斉藤義明、
楠井常夫、大藤匡文、前川昌也、大前寛乗

反対

篠原光一

可決

賛成16名
反対1名

市長提出議案

特定事業契約について
令和 6 年度坂出市一般会計補正予算(案)(第 5 号)
坂出市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定
坂出市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定

原案可決に 賛成

鳥飼由衣、寒川佳枝、小笠原浩、植原 泰、山下真司、角野正明、
丸岡豊和、山条真嗣、若谷修治、若杉輝久、茨 智仁、斉藤義明、
楠井常夫、大藤匡文、前川昌也、大前寛乗

原案可決に 反対

篠原光一

可決

賛成16名
反対1名

委員会提出議案

坂出市議会定数条例の一部を改正する条例制定について

原案可決に 賛成

鳥飼由衣、寒川佳枝、小笠原浩、植原 泰、山下真司、角野正明、
丸岡豊和、山条真嗣、若谷修治、若杉輝久、茨 智仁、斉藤義明、
楠井常夫、大藤匡文、前川昌也、大前寛乗

原案可決に 反対

篠原光一

聴覚補助機器等の積極的な活用への
支援を求める意見書 (一部抜粋)

様々な難聴者に適用できる聴覚補助機器等の選択肢が整った今、国においては、我が国のさらなる高齢化の進展を踏まえて、認知症の予防とともに、高齢者の積極的な社会参画を実現するために、以下のとおり聴覚補助機器等の積極的な活用を促進する取組を強く求める。

記

- 1 難聴に悩む高齢者が、医師や専門家の助言のもとで、自分に合った聴覚補助機器を積極的に活用する環境を整えること。
- 2 耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションを取れる社会の構築を目指し、行政等の公的窓口などに、合理的配慮の一環として聴覚補助機器等の配備を推進すること。
- 3 地域の社会福祉協議会や福祉施設との連携のもと、聴覚補助機器等を必要とする人々への情報提供の機会や場の創設等、聴覚補助機器を普及させる社会環境を整えること。

瀬戸内海の環境保全と漁業振興に向けた底質基準の
法制化及び排水基準の見直しを求める意見書 (一部抜粋)

海が自然の力では浄化しきれないほど汚染が進行していることに起因し、瀬戸内海において魚介類・藻類が激減しており、食料供給の一端を担う漁業者が危機的状況に陥っている。

(中略)

漁業者は資源回復のため、海底耕うんやイカ産卵機の設置、漁獲サイズの制限、小魚を獲らない網の目合いの制限、休業日の設定など、様々な自主的努力を行っており、関係機関の協力の下で漁業組合が放流事業も実施しているが、魚が育つ環境が整わなければ、資源の回復は望めない。長期的な海洋環境の保全、漁業の持続的発展のために、瀬戸内海環境保全特別措置法に現行の水産用水基準や香川県魚類養殖指導指針を参考にした底質に関する基準を新設することおよび排水基準を環境基準に近づけるよう段階的に強化することを強く要望する。

変わりゆく坂出

Vol.7 大橋記念図書館

今号の表紙は、大橋記念図書館です。

12月議会において「特定事業契約について」の議案が可決され、今後、坂出市中心市街地活性化公民連携事業が本格的に動き始めます。大橋記念図書館の機能は坂出駅前の拠点施設に移転されることになっており、誰もが利用しやすい場所、何度でも行きたくなる場所となるよう、令和10年秋の完成を目指し、市と事業者で具体的な協議が行われます。

現在の大橋記念図書館も子供から大人まで幅広い世代が利用でき、天気の良い日には図書館の北側にある鳥瞰庭で過ごすのもおすすめです。図書館では毎月様々な行事が行われ、そこではボランティアの方々も活躍しています。興味のあるかたは、ぜひご参加ください。



議会の情報発信中

坂出市議会では、議会の日程や委員会に関する情報についてSNSで発信しています。ぜひフォローをお願いします。



X(旧ツイッター)



フェイスブック



インスタグラム



一般質問の様子は、**KBNの生中継**または**インターネット配信(録画)**

でご覧になれます。

インターネット配信は、こちら→
のQRコードからアクセス
してご覧ください。



編集後記

2025年がスタートし、あっという間にもう2月。光陰矢の如し。

2月といえば節分です。節分と聞けば豆まきを想像しますが、今、豆まきよりも恵方巻を食する方が増えているようです。今年の恵方は「西南西」です。ちなみに、私自身は豆もまき、恵方巻も食べる予定です。

「節分」という言葉は、「季節を分ける」という意味です。節分は、季節が変わる大切な節目、特に春が始まる前の日を指します。立春の前日は、旧年の終わりであり、新しい年の始まりを清める大切な日とされてきたのです。古来より人々が何かと気を配る時期、病気や災害が起こりやすいと考えられていたため、邪気を払って新しい季節を無事に迎えたいという願いが込められているようです。日本に古くから伝わる風習などが、次の世代にも伝わるよう願っています。

(山下)

広報広聴委員会 委員長……植原 泰 副委員長……角野正明
委員……鳥飼由衣 篠原光一 山下真司
若杉輝久 茨 智仁 大藤匡文

次回開催は…
3月定例会を3月上旬
に、開催予定です。

